

米村クラス

「日本臓器移植ネットワーク(JOT)のコミュニケーションストラテ

ジーを考える②」

(注・受講生の表現案に使用されている画像は基本的にネット上のフリーのものや AI 自分たちで撮影したのですが、もし肖像権などで問題あるものがございましたら sakane@npllc.jp までご連絡ください。)

◆日時

2025 年 9 月 29 日 (月) 19 時~21 時

◆出席者

豚骨精神、づら、モゴ、安全地帯、G 面、僕、ままだおる、だら 生徒 8 (女性 2 名、男性 6 名) +米村

※本講義はオンラインにて実施されました

米村: みんなの課題を画面共有します。同じものをドライブ (Google ドライブ) にも入れたので、ダウンロードして自分の手元に置いて、人のやつとか何か意見言いたいときに自分でそれを見ながら話したりできるから。そしたら今日は順不同で出していくので、ざっとお話をしてください。

【だらのストラテジーA】

だら：コミュニケーションストラテジー（A案）

●ターゲット

幼い子を持つ親

●ターゲットインサイト

テレビなどで幼い子が命を落としたニュースを見る度、「もしも、自分の子だったら」と考えてしまい、恐怖に襲われる

●USP

臓器移植について、日本で唯一、国民の意思表示を制度として機能させている機関

●プロポジション

臓器提供を待つ間に亡くなる人は10人に1人。そのような状況で、子どもは小さい体で3年以上待たなければなりません。臓器提供の意思表示をする人が増えれば、救われる命も増え、胸を締め付けられる瞬間も減ります。暗い想像で日常に影を差すことなく、素直に自分の子どもの成長を喜べる時間を増やすことができます。

だら：だらです。これ、ほぼ僕です。僕はやっぱり子供と接している時とかに、ふと事故に遭ったらどうしようとか、重い病気に突然なってしまったらどうしようと思うことがあるんですけど、やっぱりそういうことを日常的に思っていると、目の前の子どもとの楽しい時間に全集中出来ていない時があります。臓器移植の意思表示の制度があることで、万が一子供がそういう目にあったときも、ある種助かる確率が高まるんじゃないかと考えました。そのあたりが、僕を含めた親に伝わることができれば、いいのかなという風に思ってこれを書きました。

米村：臓器提供待つ間に亡くなる人10人に1人って書いてあるじゃない。それで俺もちょっと調べたら、確かにそのぐらいの数字が書いてあって。でも一方で、臓器提供を待ってるけれども実際に受け取る人って、ものすごく少なかったじゃない。

だら：そうですね。海外に行かれたりとか、途中で辞退するみたいなこともあるらしくて。

米村：そうそう。だから、このどちらにもカウントされていない人ってどうしてなのかな。つまり、臓器提供を待ってってそれを受けられて、助かる人は10人の中に多分、2人とか3人だと思うんだよね。もちろん待ってる間に人工透析してるとか、いろんな治療で3年4年待ってるような人もいるとは思いますが、でもそれにしてもそういう人たちが最終的に何もないうまま治癒してるとは思えない。

モゴ：心臓とかだと人工の補助のやつとかあるんですけど、それもやっぱりもって数年みたいですね。初めの1年とかはいいんだけど、やっぱり年月が経ってくるとそのまま亡くなってしまいうリスクがどんどん高まってしまったりとか、そのまま命を落としてしまう方も結構いらっしゃるんじゃないかなと思います。

米村：でも例えば今言ったような人は、ここの1人にはカウントされてないってことなのかね。

だら：待機期間中に亡くなった人みたいな数字が出てるんですけど、その時辞退したりとか宙に浮いて結果的に亡くなったみたいな方はカウントされてないですね。

米村：うん、10人に1人って何か少ないなって思ったんだよね。逆に10人に9人助かるんだって思うとさ、そこそこ助かってるっていうことになるような気がしたんだよね。でも実際、助かってる人はもつと少なかったじゃない。まあ、もしもこの方向でブラッシュアップするとしたらの話なんだけどもね。

【だらのストラテジーZ】

だら：コミュニケーションストラテジー（Z案）

●ターゲット

一家を支える立場にある人

●ターゲットインサイト

もし自分が重い病気やケガをしたら、家族に迷惑をかけ、生活が立ち行かなくなるのではないかと不安になる

●USP

臓器提供者と移植希望者を円滑かつ迅速につなぐ臓器配分ネットワーク

●プロポジション

優れた臓器配分ネットワークにより、日本では心臓・膵臓・腎臓の移植後5年生存率が90%以上と、世界でも高い水準を実現しています。この仕組みを支えているのが、あなたを含めた一人ひとりの意思表示です。意思表示をする人が増えれば、もし重い病気やケガになったときに助かる確率が高まり、不安にとらわれず家族と過ごす毎日を安心して守ることができます。

だら：続いてZ案です。先ほどの子を持つ親から少し掘りまして、自分に子どもがいなくても、自分が家族を守らなきゃという意識のある人に対して、投げかけるようにしています。プロポジションにも書いたんですけど、結構日本の臓器移植ネットワークって優れてるらしくてですね。5年後生存率も高いと言われてます。

米村：これはだから、自分が臓器移植しなくちゃいけない側になっただけってことを考えてということね。

【僕のストラテジー】

ターゲット：臓器提供の意思表示は知っているが行動は先送りしている人

ターゲットインサイト：“自分が減る”感覚が怖い。臓器提供は本当に不可逆で、献血や骨髄と違って体は再生しない。だから「自分が欠ける＝自分が減る」という現実ベースの恐れがブレーキになって、一歩を止めている。

USP：JOTは法令と公正な配分ルール、独立医師の二重確認、無償原則・公的ネットワークにより、あなたが贈る臓器を必要な人へ適切につなぐ仕組み。

プロポジション：臓器提供は“失う”ではなく“贈る”。JOTが公正に橋渡し。いまの気持ちで“仮置き”。あとから変えられる意思表示が、誰かの明日をつなぐ。

...

僕：元々思ったのが、米さんも言ってたような感じで、自分の孫とか守りたい気持ち、そういう方が臓器がないと亡くなるんじゃないかという可能性があった時に、自分も何か力になれるかどうかという気持ちで考えてみました。そして、自分の家族が必要になった時に、自分は意思表示をYESしたい気持ちになったというのが（背景に）あります。だけど、本当に自分が亡くなって、提供して臓器が他の人に使われることになって、なんか（その時に）自分が欠けるというか、自分が減る感覚になるのが怖いんじゃないかと思いました。自分はそういう感覚が引っかかっていました。いつも僕は、献血とかよく行って毎年3回とか行ってるんですが、臓器提供というだけで怖いなという気持ちがありました。それは、再生しないからかなと。献血は古い血を取ることによって新しい血が再生されて、自分の体も良くなるし、その血も誰かの役に立つのが、すごく社会貢献できるなと思って常にやっています。なので、臓器提供は、再生しないので、自分が欠けることになる、そういう恐怖がブレーキになっているんじゃないかなと思いました。自分はこの一案です。

米村：これ、例えばこのインサイト、やっぱり臓器提供っていうのは自分のパーツが持っていられるから、それが怖いって思ってる人はいるとは思うんだよね。そういう人に「それはただ失うじゃなくて、必要な人に対してのギフトなんだよ。送ることになるんだよ」って言われたら、「だったらいいかも」って思うかね？ そういうふうに思ってる人が「君の眼球をどっかの誰かにギフトにして、その人が喜んでくれるよ」って言われることで、「そっか。それだったらいいや」ってなるかね？

僕：そうですね。前に米さんの話を聞いて、自分ももっと意思表示をしたい気持ちにはなりました。なん

でかという、この話を聞いて自分の考え方、もし自分が亡くなったときに、この臓器が誰かの家族とか、その方を助けることによって、社会全体が良くなるんじゃないかなと思って。今回はそれを書かずに、贈ることだけ、繋ぐことだけを書きました。贈ることを強くキーワードにしたいなと思って考えました。

米村：ちなみに、基本Z案も必ず考えるようにして。先週言ったけれども、今度から1案しか出さなかったら発表できないことにするから。

【ままだおるのストラテジーA】

日本臓器移植ネットワークA案

ターゲット

社会全体が少しでもよくなるために自分が主体的に行動したい人

ターゲットインサイト

自分の存在していたことが社会全体に貢献できることに誇りが持てる。

USP

最善の方法で臓器を橋渡しする唯一の機関として、臓器移植の意思表示をする啓蒙活動を行う。

プロポジション

未来の誰かが、あなたの存在に感謝する日が来るかもしれません。

ままだおる：まず、ターゲットは、ボランティアのように、自分のことよりも他人のために行動してくれる人を中心にしたいなと思って書きました。こういう人ってどういう時にボランティアするのかと考えた時に、自分の存在していたことによって社会全体が良くなるし、それによって自分自身が存在していた意味だったりとか自分の価値があるってことに対して、こう思ってるのかなと思っています。なので、「自分の意思表示をすることによって社会貢献できますよ」ってことに繋げていきたいと思いました。自分のボランティア精神だったりとかそういったことが将来誰かの役に立つんじゃないかっていうふうに繋がればいいかなと思ってA案を出しました。

米村：これちょっと結論じみた言い方になるけど、こういうターゲットインサイトっていうのがストラテジーありきの捏造のインサイトだって思うんだよね。プロポジションで「未来の誰かが、あなたの存在に感謝する日が来るかもしれません」ということを言うために、このインサイトが用意されてるっていう感じ。ターゲットインサイトって日頃から何か思っている、気になってる不満とか不安とかそういったこと

を言い当てようという話をずっとしてきたじゃない。これはさ、こういうふうに思ってくれてる人にはこのプロポジションを言うと、ぴったり喜んでくれるってことが書いてある。だから思考の順番が、まずインサイトっていうものを、どこに可能性があるかっていうことを探って、そういう人にどういうことを言うことが（いいか）という順番じゃなくて、先にこのプロポジションを言おうっていうことが決まってると思うんだよね、ままだおるの思考の中で。

【ままだおるのストラテジーZ】

日本臓器移植ネットワークZ案

ターゲット

自分の身近な人が病気・入院した人

ターゲットインサイト

「死」を身近にあることを痛感するとともに、「もしも」の時に対応を考える。

USP

最善の方法で臓器を橋渡しする唯一の機関として、臓器移植の意思表示をする啓蒙活動を行う

プロポジション

臓器提供は“誰かのため”だけでなく、“いつかの自分のため”にもなるかもしれません。

ままだおる：病院に行くとやっぱり死というか憂鬱というか、そういうところを痛感するかなと思ひまして。自分自身が臓器提供の対象者になったときに、そういうことを考えるかなと。でも、これもプロポジションのためのインサイトになっているかなと話してて思ひました。すみません。

米村：そうだね。それは前提としてさ、もしものときの対応を考えるって書いてあるのはこれ、インサイトとしては、ちょっと中途半端だね。死を身近にあることを痛感して、何が不安だったりすると思う？

ままだおる：すみません。ここ、「もしも」っていうのが、もしも自分自身が臓器提供の対象者になったときに、自分の分が来ないってということに対して不安というか、「自分も（臓器移植を）受けられないんじゃないか」というところがあるんじゃないかと思ひて書きました。

米村：もしも自分が臓器移植の対象になったら、どうなるんだろうっていうことを考えると、不安で夜も眠れないっていうそういう状況？

ままだおる：もしもあつたら…そうですね。なんかちょっと弱いところがありそうですね。すいません。

米村：うん。今の質問は強い弱いというよりも、インサイトっていうのはさ、普段このターゲットの人たちが抱いてる不安とか不満を、その人の言葉でどういう気持ちかを書いてっていつも言ってる。もしものときの対応を考えるっていうのはその書き方になってないから。こういう言葉をその人の気持ちの言葉に置き換えるとどういう言葉になるのか？っていう質問なんだよ。

ままだおる：はい。そうですね。そしたら例えば、もしも自分だったら、自分が死ぬかもしれないから嫌だなのか、そういったところまで落とし込めていないからってことですね。

米村：「もし自分がそうなったら嫌だなあ」っていうのは、インサイトの書き方にはなってるんだよ。だけど少なくとも、こういうことを書かなきゃということこそそろそろマスターしてほしいわけ。

ままだおる：はい。

米村：ままだおるだけじゃないからね。別に個人攻撃してるわけじゃない。

ままだおる：ありがとうございます。

【豚骨精神のストラテジーA】

豚骨精神 A案

- ターゲット
 - 子供が産まれたばかりの親族
 - アプローチ→死じゃなく、生の喜びを考える
 - 通常:死は自分に関係ない／考えたくない
 - 身近な人の死:悼みに向き合ってた他人どころではない
- インサイト
 - 愛おしい。この子の未来のためならなんでもできる。
- USP
 - 全国の子どもを含む臓器移植希望者リストを唯一公正に管理し、命をつなぐ仕組みを整えている団体です。
- プロポジション
 - 現在登録されている移植希望者はおよそ 17,000 人弱。2023年生まれた赤ちゃん約7,300人に1人は、将来、臓器移植を待つこととなります。意思表示という小さな一歩で、お子さんが生きる未来を“ひとつの命が多くの未来を支える社会”に変えていきませんか。

豚骨精神：私のターゲットは、だらさんと同じで親みたいなどころではあるんですけども、子供が生まれたばかりの親族にしました。これの理由なんですけれども、臓器移植ってどうしてもインサイトでネガティブなところ、死に向かうみたいなの、向き合うみたいなのだな、と思いました。そうじゃなくて、アプロ

一歩として、「生の喜び」みたいなところに対して訴えたら、ちょっと前向きに行動してくれるんじゃないかなと思ってこれにしました。もうちょっと詳しく言うと、死を考えると、通常モードのとき、ぶっちゃけみんな死ぬってことは自分とか自分の周りの人に関係ないよなって思ってる。もしくは、考えたくないって思ってる人が大半だなと思いました。また身近な人が死んじゃったときってというのはその悲しみに向き合っていて、他人のためにその臓器移植がどうたらこうたらみたいな、そこまで考えられる余裕のある人っていないんじゃないかなって思うふうになっています。なので死じゃなくて生に向き合った方が戦略としていいんじゃないかなと思って、このターゲットを設定しています。

その生っていうのも、中でもやっぱりインサイトというか本能として、子供が生まれてきた瞬間ってもうなんか、エネルギーとかパワーとか「もう何だ！この愛おしさは！」みたいな感じで、「この子の未来のためならでもできるわ！」みたいな強い気持ちになるなと思ってインサイトを設定しています。

米村：死じゃなくて生って言うけど、子供が産まれたばかりの親族って、その子が健康で育てて欲しいって思う気持ちが、それまで自分1人で生きてきた人に比べると感度が上がってきてる。だから、結局プロポジションに書いてあることも、その赤ちゃん（自分の赤ちゃん）が将来臓器移植を待つ人になる可能性もあるよって言って、結局はその赤ちゃんの死ということを書いてるわけだね。

豚骨精神：ああ、そうかあ……。

米村：俺はこの戦略が良くないって言うわけじゃなくて、別に死じゃなくて生の喜びを考えるとということにはなっていないんじゃないかな。単純に健康に生きることって当たり前じゃないって言うか。だからそのことをアプローチの視点にしてる戦略なんじゃないかなとは思っただけね。

豚骨精神：確かにそうですね。ありがとうございます。

【豚骨精神の戦略-Z】

豚骨精神 Z案

- **ターゲット**
 - 独身を貫くと考えてる人。自分は子供を産んで日本維持に参加しない代わりに税金しっかり払ったり政治の監視をする形で社会の一員でありたいとっすら思ってる。
- **インサイト**
 - 子を持たない罪悪感。税金みたいなシステムで子供達や親に還元できてるから良いでしょ、、、
- **USP**
 - JOTは、亡くなった人の臓器を必要とする患者へ橋渡しする、日本で唯一の公的機関です。
- **プロポジション**
 - JOTはひとつの命を社会全体で循環させる仕組みを担っています。免許書やマイナンバーカードに意思表示するだけで、税金や投票と同じように、制度を通じて社会に関わることができます。

豚骨精神：。独身を貫く人をターゲットについて詳しく説明すると、子供を産まない、育てないという選択をしたけど、やっぱり子供を残しておかないと日本維持に参加していないみたいな。でもその代わりに自分は税金をしっかりと払ったりして社会の一員でありたいとっすら思っている。子供を持たないから自分が日本維持に関わっていない、携われていないと、うっすら罪悪感を感じている。だからこそ税金みたいなシステムで、子供たちとか親に還元できてるからいいよね、とその罪悪感をごまかしている。

ちなみにこのターゲットは私とか私の周りの、今 29 歳なんですけれども、結婚しない婚約しない子供を産まないみたいなのをうっすら方向性決めた友達とかがターゲットになっています。それに対しての USP は税金みたいにしっかりこうしている組織だよ、みたいなところをプッシュしたらいいのかなって思いました。

米村：子を持たない罪悪感を感じているインサイトに対するプロポジションが「税金や投票と同じように、制度を通じて社会に関わることができます」だと、ちょっと事務的な話。これってもっと深い話だよな？

豚骨精神：はい。

米村：変な話、税金や投票はこの人はやれるわけじゃない。でも、それだけだと罪悪感を感じているわけでしょ、きっと。それって、言葉選ばずに言うと、何となく自分が子孫を残すという形でこの社会に貢献できていないと感じているわけでしょ。税金は納めてるし、選挙にも参加してるし。だからその罪悪感に対しての補完という意味では、「税金や投票と同じように、制度を通じて社会に関わることができます」だけだと、税金や投票をしている人に対して説得力が足りないんじゃないの。他にどういう意味があるのか。

豚骨精神：そうかあ…。

米村：そこを言い当てると、戦略としては筋が通ってくるような気がするよ、聞いていて思ったけどね。

豚骨精神：なるほど。税金や投票と同じだったら今、罪悪感を感じてないじゃん、ってということですよな。確かに。

米村：そう。ここでドナー登録していざというときに自分の臓器を誰かに提供して、自分はこの世を去っていくわけじゃん？ それはやっぱり税金とか投票では満たされない何かがそこにはあるっていうことを言っておかないと、ということなんじゃないかな。

モゴ：先週も私がドンピシャだったんですよ（注：前週でも豚骨精神の戦略がモゴのインサイトを突くような場面があった）。今週も私が狙い撃ちされてる感じが……2 週連続で狙い撃ちされてる（笑）。あの、愛がないみたいに言われるのはありますよね。35 歳過ぎて独身だと、人間性に問題がある

ってみられるよ、と実際そう言われるわけですよ。

だから投票とかしてて社会の一員だけど、人間的な愛情がないんじゃない？っていう見られ方をされたりしますね。例えば、だらちゃんはお子さんがいたり、ままだおるさんは奥様がいたり、なんかそういうのがないのかなみたいなのはあります。人間的な、ヒューマンなんちゃらがなくて、システムの一員みたいに見られているかもしれない。

豚骨精神：なるほど。うん。なるほどなあ。なんか今（モゴに）言っていただいて、ターゲットが私自身でもあるので、わかるわかんと思って。

米村：プロポジションにその部分を言語化するためには、「子を持たない、と決めたことに対する罪悪感」ってどういう罪悪感なんだろう、というところが結構キーになる感じするね。

モゴ：自分が寂しいみたいのもあるんじゃないかなと思うんですよね。家帰って1人でサラダ食べてるの寂しいよな、とか。

豚骨精神：すみません。私は別に1人最高派なので、むしろ家に人がいると生きていけないんですけど。確かに寂しさで言うと、社会、日本という大きな集団の一員になれていないような寂しさがあるなと思います。

米村：でもそれって罪悪感じゃないよね？

豚骨精神：うーん、罪悪感じゃないですね。今、会話してて確かに寂しいとかそういう感情の方が強いかなと思いました。

米村：俺もなんか罪悪感っていうのは、独身貫くって考えてる本人からあんまり聞いたこと今までなかったから。だってこっちの方がいいと思ってるし、っていう感じなのかなと思ってるんだよね。

でもそういう人がもしかしたら少なからず抱えている罪悪感ってどういうことなのかなっていうところはちょっと考える価値はあるような感じするけどね。

自分ごとで言うとき、うちの母親は朝鮮半島の満鉄っていうところにおじいちゃんが勤めていたから、終戦で命からがら引き上げ船っていうやつに乗って帰ってきて。それも港出る時に、3槽の引き上げ船が同時に出て、日本に戻ってきてみたら、うちの母親たちが乗ってた船以外の2槽は撃沈されて沈没してて…。自分の先祖っていうのは、そうやって繋がってきて最後3分の1の確率をくぐり抜けて日本に帰ってきた結果、今自分がここにいるっていうことを知った時、そのとき初めて何となくこれは自分の子孫を作らなきゃいけないなっていうふうに思ったんだよね。

その後、長女が生まれたときに何を思ったかっていうと、「これで一応いつ死んでも最低限のこの世に自分が生まれた責任は果たせたかな」みたいなふうにちょっと思ったりしたわけ。だから今日こんな話をみ

んなにするつもり全然なかったんだけど、豚骨精神の「子を持たない罪悪感」って何なんだろうなって考えたときに、自分がそういうことを思ったなっていうことを思い出して。だからそういう寂しさとかそういう話じゃなくて、なんとなく命って若干ボタンを繋いでるような。臓器移植っていうのは、自分の子孫を作るっていうボタンの繋ぎ方じゃないけど、別のボタンの繋ぎ方みたいに考えることもできる、っていうのもあるのかも知らないよね。まあ、ちょっと話しすぎたかもしれません。

豚骨精神：いやめちゃくちゃ参考になりました。ありがとうございます。

【G面のストラテジーA】

A

| | |
|------------|---|
| ターゲット | ：臓器提供の意思表示をなんとなく後回しにしている人 |
| ターゲットインサイト | ：他人を命を救うことには関心は薄いですが家族や大切な人の命は何が何でも救いたい。 |
| USP | ：臓器提供という救命措置に関して、最も正確な情報提供とサポートを受けられる組織。 |
| プロポジション | ：臓器提供への理解と意思表示を通じて、自分のみならず家族や大切な人が確実に臓器提供で助かる社会を共に作りませんか？ |

米村：ターゲットインサイトって「何々したい」じゃなくて、それを不安とか不満っていうネガ（ネガティブ）として表現しな、ってずっと言ってきてんだけど、そう考えるとこれどういう言い方になる？

G面：そうですね。ネガティブに言い換えると……。

米村：何々ができない、何々が不安だ。何々が……。

G面：家族や大切な人が死ぬのが怖い。とかですかね？ もしも何かあったときに、救えないのが怖いみたいな。

米村：うん、次。

【G面のストラテジーA'】

A'
,

| | |
|------------|---|
| ターゲット | : 臓器提供の意思表示をなんとなく後回しにしてしまっている人 |
| ターゲットインサイト | : 政治における選挙など自身の生活に間接的に影響があるかもしれない意思表示には積極的に参加したい。 |
| USP | : 臓器提供の意思表示の輪を広げることで、もしもの臓器提供漏れリスクを減らしてくれる組織。 |
| プロポジション | : 臓器提供の意思表示を行うことで他者だけではなく自身が確実に臓器提供で助かる社会を共に作りませんか？ |

G面: これはどちらかというと、他の家族とかを助けたいというよりは、自分が助かりたいみたいなタイプの人を考えました

米村: これもさっきと同じことかというと、どういうことになるの？

G面: そうですね……。『自身の生活に損があるかもしれないことに対して、意思表示をしないのが怖い』みたいなものがあるのかなと思いました。

米村: それってどういうこと？ そんなことをG面は思ってるの？ 普段から。

G面: そうですね。ちょっと怖いっていうのは、違うかもしれないですね。普段そういうことを考えてないかもしれないです。

米村: だから、これもプロポジションありきで考えてるインサイトなんじゃないかな。

G面: そうですね。今聞いてそうかもしれないと思いました。

【G面のストラテジーZ】

| | |
|------------|---|
| Z | |
| ターゲット | : 臓器提供の意思表示をなんとなく後回しにしている人 |
| ターゲットインサイト | : 自身の宗教的に脳死下における臓器提供を行うことが正しいかわからずどうしていいかわからない。 |
| USP | : 臓器提供に関する正しい情報発信と、どの宗教が関わらず臓器提供を行う意思も、行わない意思も尊重し、サポートしてくれる組織。 |
| プロポジション | : 臓器提供への理解を通じて、自身の宗教観にあった臓器提供意思を知り、脳死下においてもその意思が反映されるよう意思表示を行いましょう。 |

G面: 意思表示を後回しにしている人の中でも、宗教的とか倫理的な、いわゆる自身が持つ価値観があって、それによって脳死下における臓器提供を行うこと自体が正しいかわからないみたい。どうしていいかわからないみたい。でも、これもインサイトになってないかもしれないんですけど。そういう人もいるんじゃないかなって思いました。そういう人に対して、この USP は価値があるんじゃないかと思いました。

米村: 宗教観に合った臓器提供意思って何？この宗教だとこういう臓器提供の意思のあり方があって、この宗教だとこの臓器提供の意思の示し方があるとかそういう違いがあったりするわけ？

G面: そこに違いはないと思うんですけど、宗教によって臓器提供は意思表示が行われることによってなされるべきみたいのところとか、臓器提供やっちゃだめみたいな宗教もあるんですけど、いずれも「臓器提供の意思表示が行われるべきである」というのは共通してて……。

米村: 意思表示が行われるべきだってどういうこと？

G面: 例えば天台宗とかだと、臓器提供は本人の意思表示によって行われるべきだって言われてて。なので家族が同意したことによって臓器提供されるっていうのはあんまり宗教的に良くないらしくて。

そういったことを伝えることで、信心深い人とかは意思表示してみようかなみたいな感じになるのかなって思って考えてたんですけど。

米村: だから自分で意思表示をして初めて臓器提供することがその宗教下においても認められる、みたい

な話だよな？

G面：そうですね。認められるべきであるという。

米村：うん。まあこれも何となくやっぱりプロポジションありきでインサイトを作ってる感じ。その筋の戦略がどういうふうに、どういうインサイトからどういうプロポジションになればそれが成立するのか今すぐにはわからないけど。ただやっぱり宗教で認められていない人の、そういう人の行動をひっくり返すことはできないと思うんだよな。こっちの領域はなかなか難しいんじゃないかなという気はするけど。理由があってやっていないみたいなのは。

G面：ちょっと、インサイトがちゃんと考えられてないなって思ったので次の課題で考えなおしてみます。

【モゴのストラテジーA】

米村クラス課題 モゴA案

ターゲット

臓器提供自体は前向きで社会的な問題として認識もしている人

インサイト

臓器提供をすることは、結局誰をどう助けるの？

USP

JOTは、死の恐怖と向き合いながら年単位で臓器提供を待っている人が**0.79%**（131人/16650人）しか救われない現状に対して、啓発と橋渡しを通じて、一人でも多くの患者さんが救われる取り組みを推進する日本で唯一の組織。

プロポジション

臓器提供が増えることで、死の恐怖と向き合いながら年単位で臓器提供を待っている人が**0.79%**（131人/16650人）しか救われない現状を改善できます。さらにその患者さんが日常生活を送れるようになることは、社会の一員として様々な形で人を助けることにつながります。

モゴ：

インサイトは、世の中にとって良いことをしたいと思ってるんだけど、臓器提供のリアリティが薄いので

は、結局それをやったときに誰をどう助けるのかが、ぼんやりしていてよくわからないっていうところに対して、自分ごと化できないんじゃないかなってところがこのA案のインサイトです。

JOTが前提としてあるのが、臓器提供待ってる人っていうのは、今救われてる人が1%に満たないんですよ。その現状に対して少しでも多くの人を救われる取り組みを推進する橋渡しと啓発っていうところを通じて、それを推進している組織であるということになります。

臓器移植が増えることで待っている人のうち救われる人がまだ0.79%しかいない現状を改善ができるんで、その先に患者さんが社会復帰をして社会の一員として、様々な人を助けることに繋がるっていう未来が待ってる。

単にその患者さん1人を救うだけじゃなくて、その人が日常に生活することによって社会の一員としてその人が生きていくことで、様々な形で人を助けることに繋がりますというところがプロポジションです。

米村：この人1人じゃなくてその人が助かることで、より多くの人助かるということだよな。

モゴ：そういうことですね。

【モゴのストラテジーZ】

米村クラス課題 モゴZ案

ターゲット

臓器提供には前向きだが、家族の反対を懸念してドナーカードの登録を後回しにしている人

インサイト

意思表示をした時に、自分の家族にどう伝えたら良いか分からない。

USP

JOTは、死の恐怖と向き合いながら臓器提供を年単位で待つ患者さんとその家族を支え、一人でも多くの人救われる取り組みを推進する日本で唯一の組織。

プロポジション

臓器提供が増えることは、患者さん本人だけではなく、年単位で心身ともに負担を抱える家族も救うことになり、大切な家族と再び幸せな生活を送れる人たちが増えることにつながります。

モゴ：この人たちがモヤモヤしているところは、自分は意思表示したいんだけど、したときに家族から反対されるんじゃないかとか、何か命を軽く扱ってんじゃないかみたいなことを思われる懸念があって自分の

家族とかにどう伝えたらいいかわからない、という気持ちなんじゃないかなと思ってます。

それに対して、単に患者さんに臓器を橋渡しするだけじゃなくてその人たちの家族や、その人が臓器提供を受けた後など、家族のことも含めてちゃんと考えて1人でも多くの人が使われる取り組みを推進している組織ですというところが強みとしてあるんじゃないかなと思いました。

米村：患者さん本人だけでなく、その大切な家族と再び幸せな生活を送れるようになるから、俺この臓器提供するよって、(自分の) 家族に言うってことだよな？

モゴ：これが良い言い方かわからないですけども、自分はこうしたいと思った時に、JOTが発しているメッセージが味方になって、それを家族に伝えられるかなって思ったんですよね。

(親から)「痛い思いして産んだあなたの臓器差し出していいと思うの？」って言うかもしれないけど、その患者さんにも家族がいるんだよね？ その人たちも何年も待ってるんだよ、その人たちが救われることも大事なことなんじゃない？という伝え方ができるんじゃないかなと思いました。説得の話になってくるかもしれないんですけど、これは後押しになるんじゃないかなと。

米村：まあそれで納得する人もいるかもしれないけど、どこまでいっても「だってそんな赤の他人じゃん」っていう言い方もあるよね、きっと。

モゴ：これは正直そのパターンもあるだろうなと思ってました。ただ自分が掲げたかったのが、「自分の家族が救われます」っていうのは、僕の中ではちょっと違ったかなと思ったんですよね。

僕、子供いないんであれなんですけども、例えば事件が起きて、小さい娘が亡くなったみたいな話を聞いたときに、周りの人と話していると、「親の立場で考えちゃいますよね」という話になる。寄付もそうだけど、赤の他人なんだけど、親御さんの気持ちで考えられる人は結構いる。そういう他人に共感ができる想像力がある人は、結構いるんじゃないかなと思ってその人たちに届くメッセージは何かっていうのを前提として考えました。

【安全地帯のストラテジーA】

A 案

| | |
|---------|--|
| ターゲット | : 制度を知ってはいるけど意思表示をしていない人 |
| インサイト | : (万が一のときに) 誰も臓器を提供してくれなかったらどうしよう |
| USP | : 臓器提供から移植までを調整する日本で唯一の組織 |
| プロポジション | : JOT は「命の保険」です。 意思表示で命を支える人が増えることで、 万が一のときにあなたも救われます。 |

安全地帯 : ちょっと表現が悩んだんですけど、普通の生命保険だと保険金って保険に加入してる人が積み立てていって、誰かが亡くなったときに、その蓄えの一部から支払われます。JOT も臓器移植の意思表示を登録するということで、その臓器を提供できる人を蓄えておいて、誰かが亡くなったときにその蓄えから提供されるので、それが保険と同じようなシステムだと思いました。

米村 : これ言い方の問題だけでも、実際臓器提供を受けて救われる人が 0.94% だったっけ。それで言うと、意思表示をしたからといって「あなたの命も救われます」とは、まだ当分言えないと思うんだよね。

要は救われる人を増やすために、意思表示してくださいっていう言い方は成立すると思う。だからその辺の、もう少し解像度の高い「どういうことを言えるのか」というところをね。ちょっとこのままだと雑だな。

【安全地帯のストラテジーZ】

Z 案

| | |
|---------|---|
| ターゲット | : 制度を知ってはいるけど意思表示をしていない人 (家族や恋人など大切な人がいる人) |
| インサイト | : (大切な人が病気になったとき) 自分が代われるなら代わりたい |
| USP | : 自分の大切な人を救う手助けをしてくれる公的機関 |
| プロポジション | : JOT は「大切な人を救う公的機関」です。 意思表示をしていくことで、 " <u>もしも</u> "のときもあなたの命をボタンタッチできます。 |

安全地帯 : ターゲットは、焦りだったり、病気になったりしたときの、ある種諦めみたいなのが、インサ

イトとしてあると思います。

米村：もしものときもあなたの命をバトンタッチってどういう意味？ ？

安全地帯：これもレアケースでさっきの A 案と同じなんですけど、実際自分は死んでしまうけれども、JOT があることによって自分の大切な人に命がバトンタッチできる、自分の大切な命を繋いでくれるという意味で書きました。

米村：自分の大切な人と、この臓器提供で救われる人って全然関係ない人だよな？大切な人が病気になったとき自分が代われるなら代わりたいていうのは、これは自分にとって大切な人でしょ、子供とか家族とか恋人とか。

安全地帯：そうです。

米村：もしものときに、あなたの命をバトンタッチできるっていうのは、自分が何か病気になったときに自分の臓器を提供できることをバトンタッチって言うてるんじゃないの？

安全地帯：あ、ごめんなさい。それでいうと、家族優先制度というところにプロポジションを置いていて、これはレアケースなんですけど、自分の大切な人が重い病気になっていて、かつ自分も病気（やケガで亡くなって）で、自分が臓器をあげる側だった場合、家族優先制度を使えば、自分の命を繋いであげられますよという意味です。

米村：うん。でもそれはものすごく特殊なケースだよな。確かに臓器移植で家族だから兄弟だから拒否反応が少ない、やりやすいみたいなのはあるけど、それなら普通に移植手術でいいし、このドナー登録を通してやる話とはさすがに違うんじゃないの？

俺もこの前登録したとき、家族優先のところにチェック入れたけど、でも別に家族がそういうもの（臓器）が必要っていう状態と、自分が亡くなるタイミングと、その亡くなったときに渡せる臓器が一致したときに初めて優先されるっていうだけで、そうじゃなかったら普通に別の人に行くわけだよな。

安全地帯：そうですね。

米村：ちょっとこれも都合（プロポジションありき）で作ってる気がするね。

【づらのストラテジーA】

| | |
|-----------|--|
| A案 | ターゲット 臓器提供の意思表示を後回しにしている人 |
| | インサイト 自分の体をバラバラにされると考えると怖い（見た目がグロイのかなとか）、でも、人の役に立ちたいし、やらなければいけないことだとも思っている |
| | USP JOTは提供者の身体も丁寧に扱い、臓器の摘出後も通常と変わらない見た目の状態でお返しいたします。 |
| | プロポジション 臓器提供後もあなたの見た目は、変わりません。 変わるのは、誰かの未来です。 |

米村：これもプロポジションでこれを言うためのインサイトだね。

づら：最初にインサイトめっちゃこうだなって考えてたんですけど、そうなっちゃってますか。すみません。

【づらのストラテジーZ】

| | |
|-----------|--|
| Z案 | ターゲット 臓器提供の意思表示を後回しにしている人 |
| | インサイト 死について考えることに抵抗感が強く、その先のことはさらに考えたくない |
| | USP JOTは一人ひとりの意思や家族の想いを尊重して臓器の橋渡しをする日本で唯一の組織です |
| | プロポジション JOTはひとりひとりの選択を尊重します。 死後のあり方を選択できるのは生きる人の権利です。 |

米村：こっちもそうなんだけど、このインサイトがもしもあるとしたら、このプロポジションを言われた

からといって変わらない気がするんだよね。「バラバラにされるのは怖い！」と思ってる人に「いやいや、見た目綺麗になりますよ！」って言われても（笑）

づら：バラバラにされてはいますもんね。

米村：死について考えることに抵抗感あってその先のことはさらに考えたくないですって思ってたなら、「死後のあり方を選択できるのは生きる人の権利ですよ」と言われたからといって、なかなか説得力としては弱いような気がするんだよね。正しいんだけど。

づら：はい。

米村：ということで一応今日みんなにストラテジーを発表してもらって、どのあたりが今回可能性あるのかなっていうことをこの後の時間で話したい。

その前に一つ視点として、インサイトというものを考える際にまだ考えるポイントがずれている人が多いので言っておく。ストラテジーを考える時のインサイトって、例えば今回で言えば臓器移植っていうことがテーマになってるよね。臓器移植に対してどう思ってるかっていうことを考えても、強いインサイトにはならないんだよね。

どうということかという、インサイトって何だっていう話を一番最初に皆にしたときに、どういうふうに言ったか覚えてる？ G面覚えてる？

G面：ちょっとどういう感じで話されたかを覚えてないですね。

米村：言葉の語尾とかはちょっとあれだけでも、要は日常的に生活者が感じている不満とか不安とか。そういういろんな不満とか不安とか日常的に感じてる思いがあって、そのどの思いに、この商品とかこのサービスのある部分が、提案できる答えを持ってるかっていうその接点を探すっていうこと。

インサイトっていうのは1人の人にとっては無限にあるわけだよ。彼女のこととか彼氏のこととか、経済的なこととか、世界の不安なこととか、戦争がどうか、仕事のこととか、将来のこととか。

日常的に暮らしをしていろんな不安とか不満とかがあって、日常的に何となく心の片隅にある。そういう思いを持って人って結構いるよねっていう。その気持ちの鉱脈みたいなものでなるべく大きくて、しかも強い思いを見つけること、メッセージ性を強く伝えるための想い。それが選ぶべきインサイトでありそれを見つけようというのがこの作業。

例えば今日のストラテジーの何人かは、「臓器移植に対してこう思ってる」「臓器移植に対してこういう気持ちがある」と書いてる。「バラバラにされるのが怖い」というのは、臓器移植されることに対する思いになっているわけね。

「臓器移植どう思う？」って聞かれたらさ、こういう答えが返ってくる人結構いるとは思うけど、今問題なのは世の中のほとんどの人は日常的に臓器移植のことなんて考えてないじゃない。日常的に臓器移植のことをこれだけ意識を持って考えてる人が多くいれば、その人にこのプロポジションで全然通じるんだけども、多くの人がそんなことを考えてもいないことが問題。

そのときに、この臓器移植っていうことが何らかの解決になったり、提案になったりっていうことでその人の思い、日常的に思ってる思いとの繋がりを見つけることで、この思いに対してだったらメッセージができるっていうのを見つけるっていうのがインサイトを探してるっていう作業なわけ。

そういう視点で考えると、今日いろいろ皆が考えてくれてたやつの中で、そういうインサイトになってるものはどれなんだろう？

あるいはそのものズバリはないかもしれないけど、この辺りの思いは結構可能性があるんじゃないかなっていうふうになるのはどれなんだろう？

そういう視点で、全体をもう1回見返して欲しいんだよな。

(5分ほど見返す時間)

米村：みんな見てみてどう思ったかな

| | |
|-------|--------------------------------------|
| インサイト | 特別なことはできないし、してないけど、何かの時にはだれかの役に立ちたい。 |
|-------|--------------------------------------|

安全地帯：白湯さんの「特別なことできないし、してないけど、何かの時には誰かの役に立ちたい」みたいなところは臓器移植に関わらず、募金とか寄付とか、そういうとこに繋がるようなものだと思ってますし。何かベースライン的なインサイトかなというふうには思いました。

米村：これ逆に言うと、ネガに置き換えるとどういう言い方になるかね？

安全地帯：ネガだと前後を入れ替える形ですかね。「誰かの役に立ちたいと思ってるけど、一歩踏み出せない」みたいな。きっかけがないと、背中を押してくれないとできないみたいな感じです。

モゴ：僕も白湯さんのA案と豚骨精神さんのZ案「子を持たない罪悪感」がなるほどなと思いました。

豚骨精神 Z案

- ターゲット
 - 独身を貫くと考えてる人。自分は子供を産んで日本維持に参加しない代わりに税金しっかり払ったり政治の監視をする形で社会の一員でありたいとうっすら思ってる。
- インサイト
 - 子を持たない罪悪感。税金みたいなシステムで子供達や親に還元できてるから良いでしょ、、、

米村：これさっき途中になったけど、子を持たない罪悪感って何なんだろうね？

づら：思ったんですけど、罪悪感っていう米村さんがおっしゃってたのもあるし、私一人っ子なんですけど、一人っ子に対する当たりの強さみたいなのが、私よりも親の方が感じてそうで。私の親は、流産しちゃって生めなかったから、結果的に私は一人っ子なんですけど、なんか周り（の友達）から「ずるい」みたいなことを言われることが多くて。そうじゃないのにそう思われるみたいな。子供を持たないって選択をしている人もいるし、仕方なくその選択をしている人もいるし、社会をうまく生きてやろうと思って選択したわけじゃないのに、愛情がないとか自分の本意に決めつけられるみたいなのが（豚骨精神 Z案のインサイトに）あるかなと思いました。罪悪感とは違うかもしれないですけど。

米村：それって何となく、この少子化社会で、世の中の目が子供を作らない人に対しての「自分のことだけ考えてる」みたいな圧力みたいなものももしかしたらあるのかもしれない。でもそれと罪悪感ってまた別だよ。多分、独身を貫くと考えてる人は、自分の意思として、貫こうと思ってるということだから。そのことに対しての罪悪感はないと思うんだよ。だからここでいう罪悪感って何なんだろうっていうところにヒントはあるような気がするんだけどね。プロポジションに言えるべきヒントが。豚骨精神は自分の課題なんだけど、どう思う？ さらっと自分で思いついて書いた言葉だと思うんだけどさ。人からそういう風に見られていることは煩わしいかもしれないけど、罪悪感ではないよね？

豚骨精神：そうですね。でも私もこれ考えてたときに、自分の中に何かネガな気持ちがあるなと気づき、それを命名したときに罪悪感って言葉が出てきたんですよ。その時はしっくりきたのでこの言葉を選んだんですけど、確かに何に対して、罪の意識を持っているんだろう、私は。

僕：ひとつ考えてみたんですけど、輪の中に入っていない自分じゃないかなと思って。社会という輪の中に、自分は自分の意思を貫いて、自分が生活したいスタイルでやっているのが、その輪にいない自分に対して違和感を感じているのかなと思いました。

豚骨精神：ありがとうございます。

だら：豚骨精神さんに質問したいんですけど、結婚もしない子供も産まない、それでいいって自分で選択してるわけですよ。

豚骨精神：はい。

だら：でも罪悪感ってことは、本当は子供を産んだ方がいいんじゃないとか、結婚した方がいいんじゃないかみたいな気持ちがどっか潜在的にあるからそういった罪悪みたいな言葉が出てくるんじゃないかなと思ったんですけど、それってどうなんですか？ 深層心理的なところにはあったりするんですか？

豚骨精神：あるのかなのか……答えになっていないと思うんですけど、思いついたことを整理するために言わせてください。多分、これ私、今29歳で性別が女だから余計に感じてると思ってて。例えば私が男だったらとか、女でも妊娠がかなりきつくなる35歳以上とかだったら感じない……いや、どうなんだろう。できなかったって罪悪感も感じるのかな？ でも子を産む生物として、産むに適している肉体だからこそ感じているみたいなところもあるのではないかなあ……。

やっぱり理性の部分なんですよ。結婚しないとか子を持たないとか、こういう人生を私は歩みたいんだってというのは。ただ、わかんないけど生物的本能として、子は産むもんでしょう、みたいに思ってるのかもしれない。そこのいわゆる理性と本能の間に生まれるギャップの気持ち悪さを罪悪感って言ってんのかなあ……。

米村：うん。理性と本能の狭間ね。

豚骨精神：はい。

づら：親への罪悪感みたいなところはあったりするんですか？ 孫の顔が見せられないとか。

豚骨精神：私はもうずっと親に20代から孫は見せないよって言ってるんですけど、私の親のママ友が、孫を抱いてる写真とかを年賀状で送ってきて、お母さんがそれ見て子供の話とかになったりすると、やっぱりお母さんは子供（孫が）欲しいんだなって察するじゃないですか。そのときに胸がキュツとなりますよね。その胸がキュツとなるのが罪悪感も多少あると思いますね。

だら：こんな聞き方をして申し訳ないですけど結婚もしない子も産まないという気持ちの中に、「どうせ自分なんか」みたいなネガティブな気持ちはあったりするんですか？

豚骨精神：アウトプットする言葉としてはそうではないんですけど、多分ネガな感情はあって。ちょっと話それるんですけど、元彼に振られたときに、一瞬結婚みたいなのを考えたんですよ。元彼と離れたくないが故に。そのときに結婚してこの人の子供を産んだら離れないんだろうかって考え瞬間にすごいゾッとしたんですよ。自分の子供がこの世にいるということに。

二アリーイコールな自分の分身がいるって、とんでもなく気持ち悪くなって思っ。そのときに私って自分が思ってる以上に自分のことを日々否定しているのかもしれないって気づいたんですよ。

なので、返答になっているのかどうかわかんないんですけど、インサイトの方で、やっぱり自己嫌悪とい

うか自分否定みたいなのがあるから、そんな私から生まれる子供なんておぞましいわって思ったのかもし
んないですね。

だら：ありがとうございます。僕は結婚する前は絶対結婚するつもりもなかったし子供を産む人間でもな
いと思ってたんですよ。豚骨精神が言ったようなおぞましいじゃないですけど。

暗い話になっちゃうけど僕の父親が結構暴力振るう人だったんですね。自分もそういう気質があると思っ
てるから、子供産んだら子供を不幸にすると感じてたんですね。でも前の奥さんには連れ子がいて、僕に
対して「自分の子供を持つ幸せを知ってほしい」みたいに言われたことがあって。

それで自分の子供が生まれてきたら、さっきの米村さんと全く同じで、バトンタッチという一つの役目
を終えたみたいな感覚に不思議となったし、逆にもう子供に何かあったとき自分の命を捨てても守らなき
やなって思えたんですね。

だから子供を持たないって決めてる人は、全体的にはどこか諦めてたりとか自信がなかったりとかそうい
うところがあって、だけど自分の意思で作らないって決めてるから、そこと相反して、罪悪感とか後ろめ
たさみたいなものを感じたんじゃないかなって思った次第です。

豚骨精神：ありがとうございます。この罪悪感というものをもっとシェイプするために、米村さんやだ
らさんにも失礼なことを言うことは承知で言わせていただきたいんですけど、お2人の話を聞いたとき
に、何かちょっとアイロニーというか皮肉というか、「簡単に言ってくるよな」みたいな気持ちを正直抱
いたというのがあって。だって、あなた達男じゃないですかっていう。こっちは死んでしまうかもしれん
のだぞとか。万が一、あなたとのペアリングが駄目になって、でも別れるってなりました。でも子供はも
う存在しちゃうからどっちかが育てなきゃいけないってなったときに、大抵女性の方が子供の責任を持
つ。そうなったときに私の今こうやって一生懸命積み上げてきたキャリアだとかそういうのもう軒並
み全部壊れるよねみたいな。そういう死ぬかもしれない可能性とか、積み上げてきたものがなくなるかも
しれないっていう怖さがやっぱりあって。罪悪感の話に戻ると、でも友達とか周りの日本見てると、それ
乗り越えて、子供産んで、いわんや幸せを感じているっていうところに対して、それをサークルにも入れ
ない。それを喜びとすら思えない自分っていうことに「人間としても欠陥があるんじゃないか」みたい
な。人間として存在していること自体への罪悪感みたいなのが、あるなと思いましたね。

米村：今の二つのことに関して一応答えておくと、出産ということが結構やっぱり物すごくリスクで、
特に女性なんかは命に関わることだっていうのは俺は自分の子供が生まれるとき、多分そこまでシリアス
には受け止めてなかったと思う。普通に生まれるのが当たり前ぐらいで思ってたのは、確かにある。

5月に孫が産まれた時、母親が自分の娘だったから、それはめっちゃめっちゃ心配だったんだよね。もしもの
ことがあったらどうするのかとか。生まれることがやっぱり当たり前ではないってこともいろんなと
ころで見聞きしてきたから。だから無事産まれたときに本当にほっとした。だから僕ら男が、私ほどはわ

かってないだろうというのはその通りだと思う。

もう1個の方は、俺はわかんないけど、別れたとしても子供は自分の子供だと思ってた。それはもちろん子供の幸せを大事一番に考えるから母親の方に行きたいって本人が言えば、我慢して、そっちに行きなつてするとは思うけど、どっちでも言いいって言われたら多分俺は引き取ると思う。

それが、その二つのことに対する答えというか、僕の思いはそんな感じかな。別にだらの答えは今言わなくてもいいけども、この罪悪感っていろんなレベルがあると思うんだよ。

最初の方に言ってた理性と本能みたいな話で、やっぱり理性的に今の時代物価高で収入がなかなか大変じゃない、若い世代は。結婚してても、当然のように共働きだし、子供を産むことを経済的余裕がないという理由で持たない人もいる。もっと言うと、それだったら結婚するよりも自分の働いたお金を自分の必要なことに全部使って自分のキャリアを積んでいく方がいいって人もいると思う。

同じ罪悪感の中にもいろんなレベルがあるから、豚骨精神みたいに「自分の分身の子供が生まれると想像しただけでもゾットする」っていうのは相当深いところでのインサイトだと思う。

でもそこまでじゃない人も結構いると思うんだよね。理性的に旅行行ったり食べたいもの食べたりするよな人生って絶対結婚とかしたらできないとか思ったりするとか。

だから、子を持たない罪悪感っていうものはやっぱり共通するようなものがあるかもしれないし、それは最初に言った、臓器移植があろうがなかろうが、存在するインサイトにはなってるんじゃないかなと思うけどね。

そこに対してどういうプロポジションをJOTとして提示できるかというのは、さっきも言ったようにここに書いてあることだけだとちょっと物足りない。そこをどうやって埋められるのかっていうところまであって初めて成立するんじゃないかな。

だら：僕米村さんがおっしゃってた豚骨精神さんほど深くなく、軽く考えてる人もいるんじゃないかって話については、そこが男性と女性の違いなのかなと思いました。男性で独身貴族最高だぜって言うてる人と女性で独り身最高だぜって言うてる人の本質は全然違う気がしている。

男性はそれこそ自由な時間があるとか、別にいつでも結婚できるみたいな感じの部分があると思うんですけど、女性にはタイムリミットがあるじゃないですか。適齢期とかそういうのも含めて、やっぱりそこがそもそも男性と女性は全く違うから、もしこのインサイト考えるんだとしたら女性に限定した方がいいんだろうなと思いました。

豚骨精神：なるほど

米村：タイムリミットっていうのは、出産に対するタイムリミット？

だら：出産もうですし、それこそモゴさんが言ってたように、「何十歳を過ぎて結婚してないのってちょっと問題あるよね」って言われちゃうみたいなことも一つのタイムリミットなんじゃないでしょうか。ただ男性でそれをすごく嫌だなと思ってるのか、女性に比べて僕はその気持ち少し軽い気がするんですけど、モゴさんはすごく嫌ですか？日常的に苦しくなるくらい嫌ですか？

モゴ：女性に比べると、という基準が僕はわかりませんね。その人の中での重さ軽さはあると思って、女性でもさっさと思う人もいるだろうし、男性でも嫌だなと思う人もいると思うし。出産にタイムリミットがあるっていうのはおっしゃる通りだと思うんですよ。性差という観点では、女性の方が僕の同年代を見てますと、やっぱりあるんですけど、「あなた人間的に問題あるでしょ」と言われて、男性だからそれをかわせるということはないかなというのは思います。

だら：結構傷つきますか？

モゴ：それは傷つきますよ。投げられて傷つかない人はいないですよ。程度にはよりますけど。あとあえて言うと、(自分が)人を傷つけたときに、お前ってその手の愛情がないんだなみたいに言われる。だから結婚できないんだよとか。うちの会社の子とかによく言われるんで。

それは傷つくか傷つかないかで言ったら傷つきます。その傷が客観的な指標がないからわからないけど、だらさんの質問に返すと、女性と比べてそれが傷ついているのかはわからないけど、傷つくか傷つかないかでいったらたまたま傷つきます

だら：ありがとうございます。

づら：そもそも年の差婚とかあるけど、男性が上で、女性が下は多いけど、逆が少ない。結婚に関しては。

米村：昔、小柳ルミ子は逆だったけどね。

一同：(笑い)

ままだおる：ままだおるです。うちは結婚してるんですけど、嫁さんの体調もあって子供は作らないって決めてます。いろんな人から言われるが「結婚したのになんで子供を産まないの？」って言われたりとかして、本当は子供とか欲しいけども、なかなかできないっていうところもあって。

さっきの例えば男性女性の話で言うと、やっぱりそういったこともあるから、僕もそうですけど男性の方でも欲しいけどできないとかそういったところで、傷つくというよりは、残念だなというふうに思う気持ちがあるのかなと。

ずっと考えてたのが、本当は子供ができることによって自分が生まれてきてその次の世代の子供がいることによって、両親もそうですし、周りも喜んでくれるけど、自分で途絶えてしまったというところに対し

て、罪悪感とか申し訳なさがあるなって思っている。

だから私は最近チェック（意思表示カードのチェック）をしたんですけど、自分以外のところで自分の生まれ変わりというか、繋がっていくといいなと思う感じはありました。

豚骨精神：ありがとうございます。

モゴ：さっき傷つくか傷つかないかでいうと傷つくと言ったけど、「だから言わないでね」みたいなのはあんまり思わない。その選択をしているのは僕だし、自分で選択していることだから「言わないでね」っていうのは思わない。どうぞ好きにおっしゃってください、みたいな。それが優しい言葉か鋭利な言葉かみたいなのはあるけど、人生いろいろあるじゃないですか。ちょっと脱線しちゃいましたけど。

だら：今のモゴさんの話が、まさにさっき豚骨精神さんが言った「簡単に言ってくれるなよ」みたいなとこの違いなんじゃないかなと思ったんですよね。そこがすごく深いかなと思って。

モゴ：というと？

だら：女性の生まない決めてる気持ちと、男性が決めてる気持ちの深さみたいなものが違う。だから男だったら……男だったらって言い方はあれなんですけど「もう言わないでくれ」みたいにはならないじゃないですか。でも女性は違うのかなって。

ごめんなさい。逆に聞きたいんですけど、豚骨精神さんはどうなんですか？

豚骨精神：普通に回数を重ねたらそうなんだ。回数を重ねられたんだなみたいな。これが年の功かみたいな感じ。これが慣れというか。そこは別に先ほどの米村さんのお話を聞いているときよりかは感情的にはなかったですね。

モゴ：性差ではない気がしますけどね。子を産まない選択をしたことに対して、その人個人の話。もちろんそこには生物学的な何かがあるのかもしれないけど、それを根拠に考えるのはどうなのかなと。それよりも、個人の生き方とか環境とか個性とかを考える方が筋が通るかなと。

だら：話の方向性としてあれですよ。もう豚骨精神さんのインサイトの方向性で、考えてくということなんじゃないかな。他の方の「私はこのインサイトが気になる」を聞いてないので。G面さんとか特に聞いてないですよ。

G面：そうですね。今の話聞いて思ったのは、罪悪感度合いみたいな話あったと思うんですけど、自分の周りにたまたま豚骨精神さんみたいな女の子がいて、その子はまだ軽度。その子は、自分の子供クローンみたいな子供が生まれることが怖いけど、子供は欲しいらしいんですよ。だから自分の周りにもいたので、このインサイトは結構あるのかなと思いました。

あと、二つあるなって。感想みたいになっちゃうんですけど、生物として、人間に関わらず、生物は子孫を残すことが究極的な、根源的なものだったりするので、そこに対する罪悪感みたいなものもあるかもしれない。それと同時に、自分が子供を作らないっていうのが社会的に異常とか変なことなんじゃないかみたいな、いわゆる社会常識的な部分に反してる部分とかが罪悪感になっているのかなと聞いてて自分は想像しました。なので、このインサイトはすごくあるんじゃないかなと思っています。

米村：他はどう？他のインサイトとか他のストラテジーで気になるものは？

G 面：他のストラテジーだと白湯さんの A 案ですね。さっきの話（豚骨精神 Z 案）は普通じゃないことに対しての何かだと思んですけど、これは特別じゃないことに対して特別になりたいという気持ちって結構誰しもが持ち合わせてると思んですけどよね。

| | |
|-------|--------------------------------------|
| インサイト | 特別なことはできないし、してないけど、何かの時にはだれかの役に立ちたい。 |
|-------|--------------------------------------|

米村：ちょっと広すぎるんじゃないかなっていう気がするんだけどね。先週終わったけどあんぱん（注：NHK の連続テレビ小説）の主人公の子が一しかかって言ってたことって、「何を探してるんだろう」みたいなことを言い続けて、アンパンマンが生まれた時に「これを探してたんだ」みたいな終わり方だったけどさ。

要は、そういうボランティアみたいな仕事をするとかいろんな答えの出し方があるじゃない。だから別に何回も言うてるけど、間違っていないんだけど、この JOT をプロポーズするには、もう少しこの中にあるどういう特別な想いみたいなものとかに焦点を当てていかないと、答えの仕方がいろいろありすぎるよね。

G 面：もうちょっと深ぼった段階じゃないとどうとも言えないみたいな感じですか？

米村：深掘るといって、この中のこの想いだったら、JOT がその答えを提供できるんだろうなっていうもの。誰かの役に立ちたいけど、今は何もできてないな～ってというのは、ちょっと漠然としすぎなんじゃないかな。じゃあ募金しろよとか。なんだって答えは出せるよね。

G 面：そうですね。何とでも言えてしまうと確かに思いました。

米村：豚骨精神は逆にこれ Z 案にしてるじゃない？ Z だと思ったからそうしてると思うんだけど、A 案はどうなの？自分の中で客観的にみて、わりと Z がみんなの議論の的になったけど、自分の中でも Z はちょっとニッチで、A の方が大きいんじゃないかと思って A 案しているわけだよね？

豚骨精神 A案

- ターゲット
 - 子供が産まれたばかりの親族
 - アプローチ→死じゃなく、生の喜びを考える
 - 通常:死は自分に関係ない／考えたくない
 - 身近な人の死:悼みに向き合って他人どころではない
- インサイト
 - 愛おしい。この子の未来のためならなんでもできる。

豚骨精神：Aにした理由というのは、臓器移植、すなわち人の生死に対して紐付けやすい、距離が近いと思ったからです。Zは単純に距離はあるけど可能性はあるだろうと思ってZにしたという感じですかね。

米村：これどうだろう。だらのは、インサイトの居場所としてはちょっと近いところにいるような気もするよね。

だら：コミュニケーションストラテジー（A案）

- ターゲット
幼い子を持つ親
- ターゲットインサイト
テレビなどで幼い子が命を落としたニュースを見る度、「もしも、自分の子だったら」と考えてしまい、恐怖に襲われる

豚骨精神：私も似ていると思っています。ただ私の戦略的に、結局米村さんに USP とポジションの方で、死について考えてるじゃんって突っ込まれましたけど、戦略的に生について考えた結果、行き着いて欲しいなっていうふうにしたので、似てるけどちょっと違うなっていうのは個人的に思っています。

米村：だらはその辺どう思う？

だら：自分の子が愛おしくてってところなんですけど、愛おしいこの子の未来のためなら何でもできる。これ逆に言うと、愛おしいこの子にもしものことがあったら、もう最悪だっていうことだと思っんですよ。だから言ってることは同じなんじゃないかなと思っていました。

豚骨精神：なるほど。今理解しました。

だら：でも米村さんの話とズレちゃうかもしれないですけど、考えるなら豚骨精神のZ案のインサイトを対象にした方が、JOTの機能と繋がりそうだなって感覚的ですけど思っています。その辺って皆さんどうなんですか？作りやすいとは言わないですけど、繋がりそうって感覚がありました。

米村：ままだおるはどう？

ままだおる：子供っていうところもちろんあるし、生まれたばかりでそこに対してのこの子のためなら

自分の命でも何でもいいと思うところもあるなっていうふうに思ってます。確かにそうだなっていうふうに今思ってます。

それが、臓器移植とか、そういうところに繋がっていくのかなと、もやもやと考えてました。

米村：時間も 21 時過ぎたから、僕は豚骨精神の Z 案はすごく興味深いし深い話だから、ここ掘りたいっていう気持ちはわかる。だから Z 案として残して、さっき言ったところ精査したらどうなるかをやったらいいと思う。

豚骨精神とだらの方向は、A 案としてはあるんじゃないかなと思ってる。というのは、普通にターゲット誰だろうって考えたときに戦略的に赤ん坊が生まれた前後のその周りにいる人たちって、生命というものに対する感度が明らかに（高まっている）。

独身でさ、仕事で毎晩徹夜したり、毎日のように夜中まで遊んでたりするやつなんか自分の命に限りがあると、そんなこと全然考えてないと思う。

やっぱり出産が身近にあった人っていうのは命というものに対して感度が上がってる人たちだから、その人たちをターゲットにするというのは、戦略的にさっきから言ってる鉱脈としては大きいんじゃないかなと思う。

その人たちのインサイトっていう意味で言うと、だらの A 案と豚骨精神の A 案がわりと近いかもね。ただ、その間で今日話をしたようなことをもう少し筋を通して、ちゃんと JOT としてどういう提案ができるかっていうところをもう少し肉付けして 1 個考えたいかなと思う。

なので、次はストラテジーだけじゃなくて、そのアウトプットまで落とし込みたいんだけど A 案と Z 案、それと両方のアウトプット 1 個ずつ（を次回の課題）にしようかな

豚骨精神：質問いいですか。A 案は子供が生まれたときのもの、Z 案は子を持たない罪悪感というのは固定で、それぞれ深めてくる。そのアウトプットもつくるってことですよね？

米村：うん。だらの A 案と豚骨精神の A 案は、近いとは言ったけど全く同じではないので、そのあたりを最終的に絞り込んで、ターゲット・ターゲットインサイトに整理するといいいのかっていうところをそれぞれみんな考えて。

それと、最初に何人かに言ったけど、インサイトで何を言ってるかっていうところは、人それぞれいろんな違いがあってもしょうがないんだけど、インサイトに書くべきことは間違えないで書いて欲しいな。「何々をしたい」という風には書かないとかそういう作法の話だから。そこも間違えないように考えて欲しいね。

今日はちょっと深い話や個人的なあんまり人に話したくないようなことまでいろいろ聞いたり話したりし

たけど、でもインサイトっていうのはある種、本当に内面的なところまで考えたり自分の中でも掘っていったりしないと出てこないものなので、まあいい議論だったんじゃないかなと思います。

以上